

西伊豆健育会病院 事務部 経理 石田 あずさ

- 功 績 「おかしいものはおかしい」 これまでの経験で培った嗅覚で水道光熱費の異常値に気づき原因追求した結果、点検困難な埋設配管の水漏れを発見した功績
- 推 薦 者 事務次長 藤井小百美
- 推 薦 理 由 「おかしいものはおかしい」と水道光熱費の高騰原因を追究し、周囲を巻き込んで透析室の埋設配管の水漏れを発見し、以降のガス・水道料金の高騰と床への浸水などを未然に防いだことは他の事務職員にも見習ってもらいたく、手本となる行動であるため。

内 容

石田は、平成7年に入職し、一度子育ての為に退職後、再度、パート職員として入職し経理を担当している職員です。石田が経理担当して日々心掛けていることは、異常値に敏感でいることです。

請求書の処理をしている中で、ガス料金の異常値に気づき、すぐにガス会社へ連絡し請求額が異常値を示している事を伝え、月途中ではありましたが、現在の使用状況を確認依頼しました。ガス会社からは、確かに異常値であり現在も通常よりも多く使用しているが、ガス漏れはしていません原因は別にあるのではとの回答でした。ガス漏れが原因でなければ何に注目すれば良いのか施設管理に相談し、施設内のガスに係る箇所を確認してもらっても原因は不明でした。施設管理と何か手掛かりになる事はないかと諦めず相談する中で、水道の使用量を確認することを提案してもらい、過去の使用量を算出し現状の使用量を比較する事で、水漏の疑いを追及しました。水漏の疑いから再度施設管理に調査してもらいましたが明らかな水漏れは見つからず、様々なケースを想定し、透析の水道使用量が例年より多いことにたどり着きました。そして、施設管理が当直時間帯に透析室の給湯器を確認すると給湯器が稼働し続けている状況を確認、透析室の給湯管が漏水し給湯器が稼働し続けている事が判明しました。漏水していた配水管は埋設配管であり、原因追及を石田が途中で諦めて放置していたらガス・水道代の高騰はもちろんのこと、床へ浸水していた可能性もありました。

異常値を見逃さず、異常に係る事は何かを考え現状を数字で説明する事で、事故を未然に防ぐ事ができた石田の功績を理事長に推薦致します。